

平成 27 年度夏季休業前終業式挨拶

平成 27 年 7 月 24 日(金)

平成 27 年度も 1/3 が過ぎようとしています。私は、4 月に着任し、初めて校舎に入り、皆さんから元気な「お疲れ様です」の挨拶の言葉をかけてもらい、心がこんなにもワクワクしたときのことが昨日のように思い出されます。

そして今言える言葉は、ただ一言

I LOVE OHNO

ときどき、授業や、部活動を見学していますが、皆さんの一生懸命な姿、先生方の、生徒の能力を引き出そうとする真摯な姿にいつも感銘を受けています。

高総体の応援でのゴレンジャーは、県内(特にチア)の学校からモテモテでした。被り物があれば勇気を持って何でもできる。それは、被り物をとっても堂々と発信できるための一歩かもしれません。

体育祭も凄かった。あんなハードな競技を行っている学校は少ないですね。皆さんの秘めたパワーに驚きました。そして生徒と一緒に頑張る先生方の姿に感動しました。生徒会の皆さんあらためて、ありがとう！

忘れられないのは、地域の方々のサポートです。体育祭での豚汁の振舞、交通安全教室、工芸の授業でのご指導、野球応援に駆けつけてくれた地域の皆様、里山整備、そして、大野高校を守る会、同窓会の方々の物心両面からの支援、挙げればきりがありません。

そして、高総体での卓球の完全優勝、野球夏の大会での大健闘と、暑い中、全校で声をあげ続けた応援活動。お疲れ様でした。吹奏楽部の皆さんありがとうございました。

部活動では、3 年生が引退した部も多いですね。まず、お疲れ様、そしてこれまでありがとうといいたいと思います。生徒会執行部もこれまで本当にありがとう。そして今認証された新執行部の皆さん、応援団の皆さん、部活動の新チームの皆さん、これからの活動を一層盛り上げていって下さい。

私は、これまでの大野高校の素晴らしい躍進や、華々しい戦績・成果を皆さんと分かち合い、共に喜びたい。でも、私はそれと同時に、そんな華々しい活躍、出来事だけでなく、日常の挨拶や、ちょっとした心遣いにも同じような価値を感じます。例えば、総合文化部が、予算が無い中工夫を凝らしてバックをこしらえ母親にプレゼントしようとしていることや、移動図書館に顔を出して本を借りに来てくれる生徒の姿に心が動きます。

どうか皆さん。日常の些細なことやものに幸せを見つけて下さい。そして、自分の周り半径1m以内の中で、自分ができる何かを発信して欲しいと思います。そんな小さな一歩が、周囲を動かしたり、自分を変える大きな一歩にもつながると思うのです。

暑い夏がやってきます。この夏を皆さんが飛躍を遂げるための準備の期間にしてください。皆さんは一人ではない。同級生の仲間、先輩、他の友人、家族、先生、地域の方々がついていきます。一人一人が達成感を抱けるよう応援したいと思います。

では、最後に皆さんで合唱して終わります。Let's speak together !

WE LOVE OHNO

校長 下町 壽男